

開催趣旨

【開催趣旨】

- 気象庁は、気象分科会提言「2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方」（2018年8月）を中長期的施策の指針として、各施策を推進中。
- 前回の気象分科会（2024年3月）にて、提言以降の社会動向を踏まえ、今後気象庁が重点的に取り組むべき5つの課題として、「次世代気象業務の柱」を提示した。

- 今回は、
 - ① 「次世代気象業務の柱」の検討の進捗を報告する（資料2）。
 - ② ①を踏まえて、気象庁が提言を基礎としつつ、近年の社会動向を踏まえて追加的に強化すべき施策の案を示す（資料3）。

より充実させるべき箇所や、欠けている観点がないかなど、ご指摘いただきたい。